令和 7 年度山口県臨床検査技師会
精度管理調査報告

生物化学分析部門

令和７年度　山口県臨床検査技師会精度管理調査報告書　生物化学分析部門

〈実施項目〉

昨年度と同様に臨床化学検査（含 CRP）28 項目、感染症検査 3 項目
合計 31 項目を対象とした。

【臨床化学項目】

［濃度項目］

グルコース、総ビリルビン、直接ビリルビン、Na、K、Cl、カルシウム、無機リン、血清鉄、総蛋白、アルブミン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール、CRP

［酵素項目］

AST、ALT、ALP、LD、AMY、CK、γ-GT、CHE

［その他の項目］

HbA1c

【感染症項目】

HBs 抗原、HCV 抗体、TP 抗体

〈精度管理試料〉　※番号は試料番号

臨床化学測定用試料：1（正常域）・2（異常域）

試料は福岡大学から購入したヒト由来プール血清を使用した。試料は配布前日に流水中にて解凍し、液状品を冷蔵（4℃）に保持し配送した。

感染症測定用試料：1・3

試料 1 は臨床化学用試料と共通とした。試料 3 は市販管理試料（インフェクトロール C）を使用し、冷蔵（4℃）にて配送した。

HbA1c 測定用試料：4

試料 4 は CBC 試料と共通のボランティア提供の生血液を使用した。

<参加施設数>

昨年と比較して参加施設数は増加しました。
臨床化学：60 施設（昨年より 1 施設増加）
HbA1c：48 施設（昨年より 1 施設増加）
感染症：38 施設（昨年より 1 施設増加）

<評価方法>

例年通り、日臨技方式に従い ABCD 評価法にて評価した。
また、施設数 10 以上の方法については、SDI 評価も行った。

ABCD 評価について

項目、試料ごとに目標値を定め、さらに目標値に対し、以下に示す許容幅を加えて評価基準とする。項目一括評価を原則とするが、調査試料のマトリックスの影響により不当な評価となる可能性が高いものは然るべき分類をおこない目標値を別に定めて評価をする。本年度は目標値を測定値の平均値とした。

以下に評価の詳細についてまとめた。

評価 A：「基準」を満たし、優れている
生理的変動をもとに算出した施設間の許容誤差限界（analytical bias, B_A）健常人の生理的変動から算出されているので項目によっては大きな数値となっている。上限を 5%とすることも考慮した。

評価 B：改善の余地が見込めるが「基準」を満たしている
体外診の性能確認幅に準じた．但し，現状の収束状況を考慮し上限を血清測定項目で 5%とした。しかし，技術水準を考慮した施設間の許容誤差限界（技術水準）が 5%を超えた場合は，従来用いた体外診の性能確認幅を上限に評価幅を広げた。

評価 C：「基準」を満たしておらず改善が必要
評価 B の幅を超え，この幅の最大 1.5 倍までを評価 C とした。

評価 D：「基準」から大きく逸脱し，早急な改善が必要
評価 C の幅を超えた場合を評価 D とした。

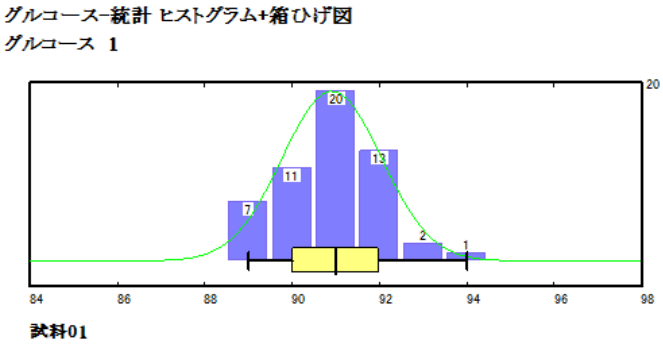
【ドライケミストリー法の評価法】
マトリックス効果・アイソザイムの反応性の差異などにより液状試薬と同じ指標で評価ができないため、各メーカーに試料測定にご協力いただき、例年通り、日臨技方式に則りメーカーの測定値を目標値と設定した。許容幅においても日臨技方式に則り、設定した。参加施設数は 10 未満であるため、SDI 評価は実施していない。

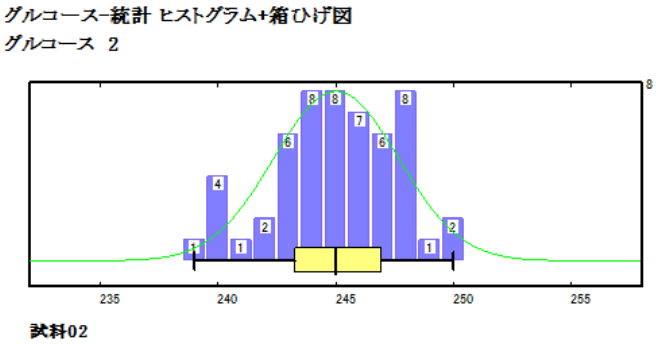
【是正処置】
C、D 評価となった項目については、是正処置報告書の提出をお願いした。

<集計結果>

① グルコース

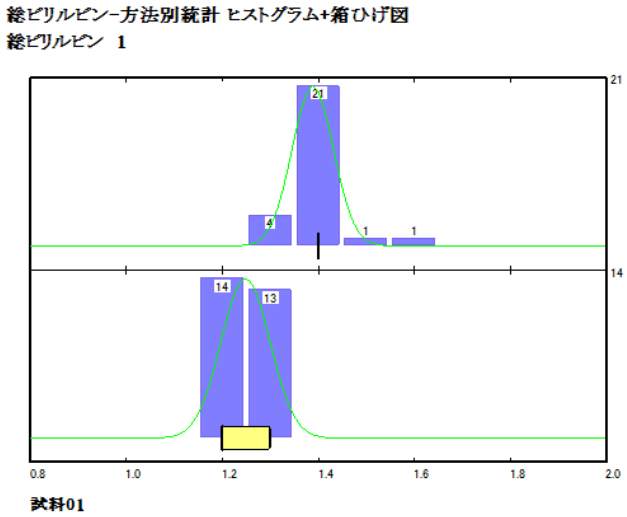
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、ヘキソキナーゼ法（47 施設）、GOD 電極法（6 施設）、グルコキナーゼ法（1 施設）であった。CV は、試料 1：1.25 %、試料 2：1.08 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

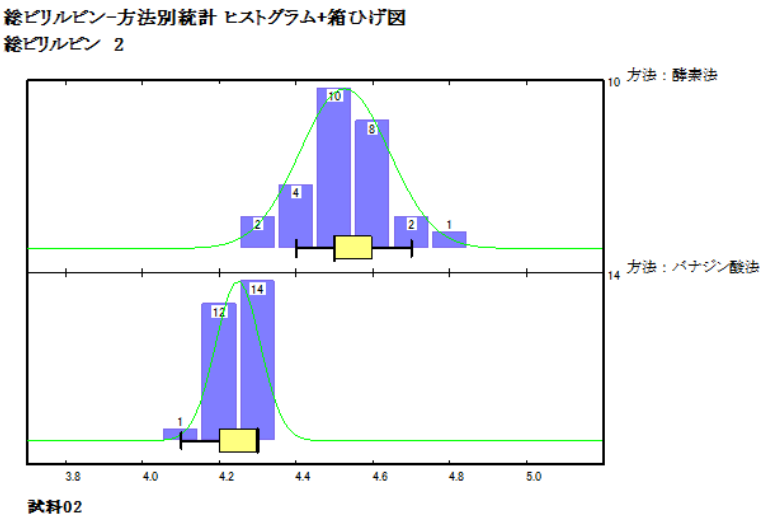


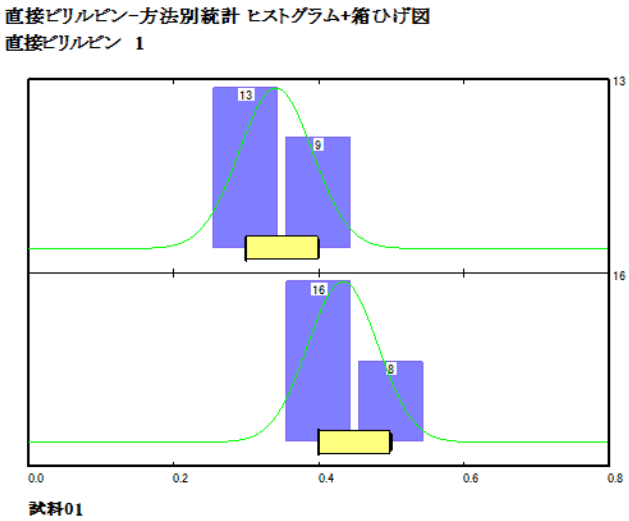


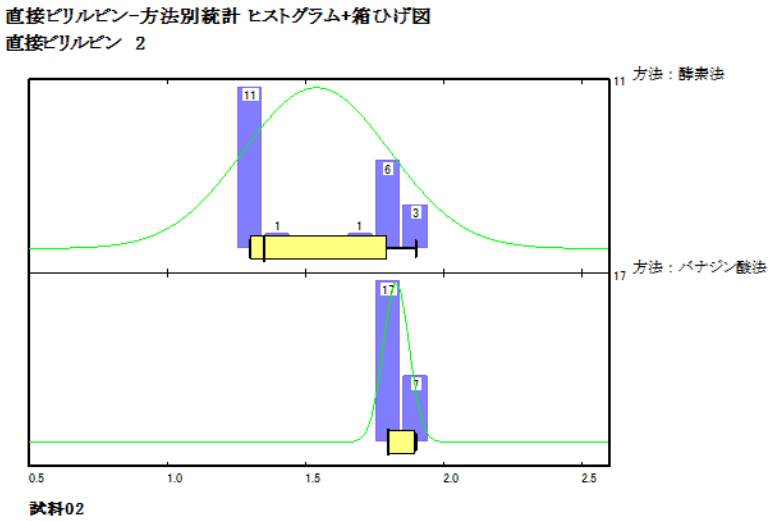
② 総ビリルビン、直接ビリルビン

総ビリルビンの評価方法は、方法別評価とした。測定方法は、酵素法（27 施設）、バナジン酸法（27 施設）であった。CV は、試料 1：酵素法 3.11 %、バナジン酸法 4.08 %、試料 2：酵素法 2.57 %、バナジン酸法 1.36 %であり、収束した結果であった。今年度は、CD 評価に該当する施設は無く、全施設で良好な結果を得られた。「試料の、到着日の測定と遮光保存」という、手引き書での注意喚起が周知できたと考えられる。直接ビリルビンの測定方法は、酵素法（22 施設）、バナジン酸法（24 施設）であった。昨年と同様、参考調査とし、評価対象外とした。



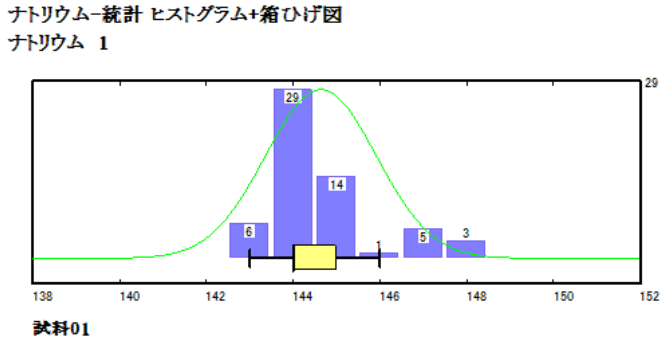


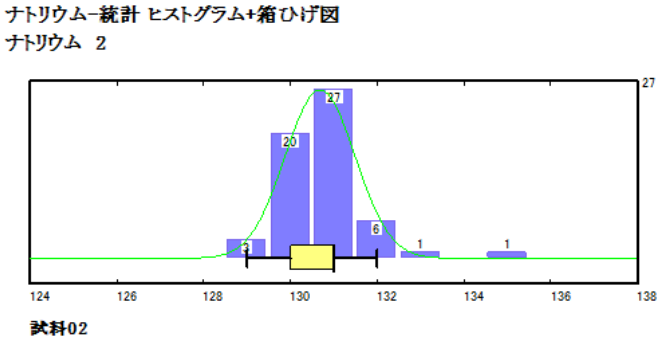




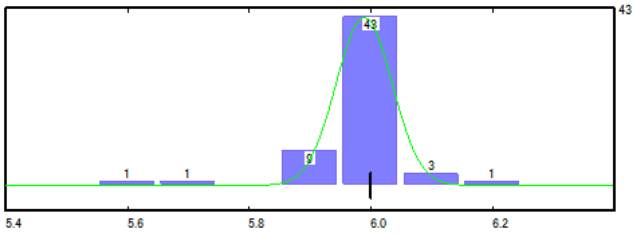
③ Na、K、Cl

Na、K の評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、イオン選択電極希釈法（51 施設)、イオン選択電極非希釈法（7 施設）であった。Na の CV は、試料 1：0.89 %、試料 2：0.62 %、K の CV は、試料 1：0.77 %、試料 2：0.84 %であり、昨年度と同様、収束した結果であった。Cl の評価方法は例年通り、方法別＋メーカー別評価とした。測定方法は、イオン選択電極希釈法（52 施設)、イオン選択電極非希釈法（6 施設）であった。Cl の CV は、希釈法／日立（19 施設）の試料 1：0.91 %、試料 2：0.96 %、希釈法／エイアンドティー（17 施設）の試料 1：0.62 %、試料 2：0.47 %、希釈法／キヤノン（11 施設）の試料 1：0.63%、試料 2：0.77%であり、昨年度と同様、収束した結果であった。



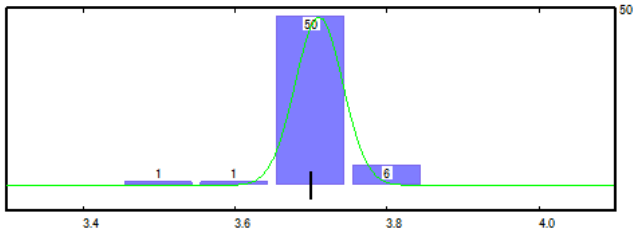


カリウム−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
カリウム　1



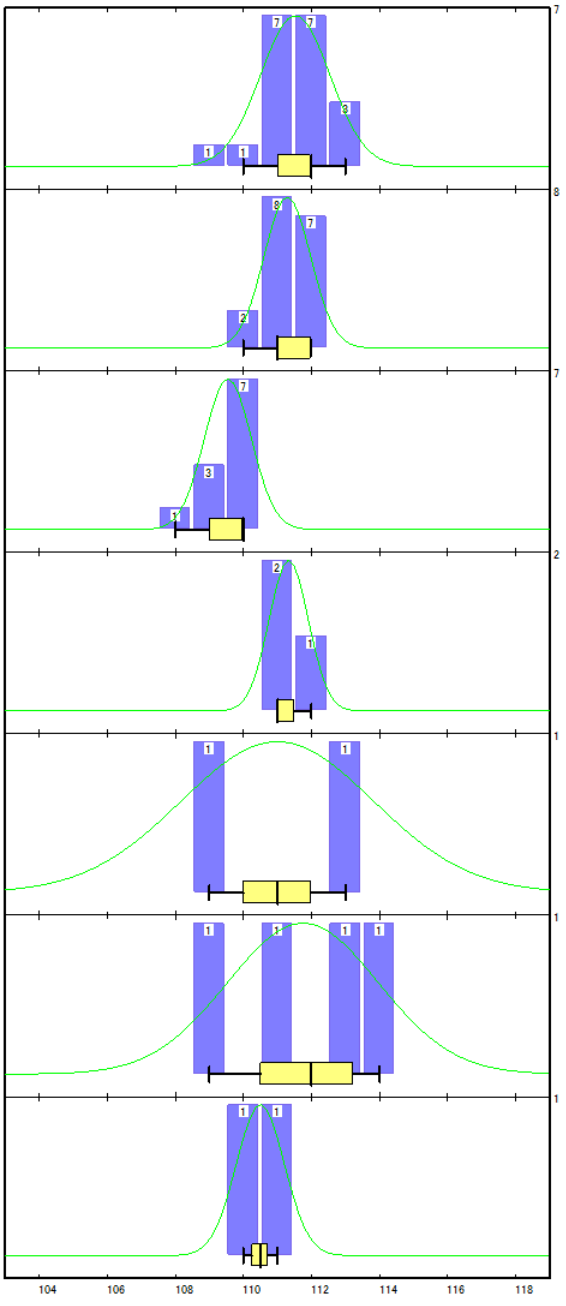
試料01

カリウム−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
カリウム　2



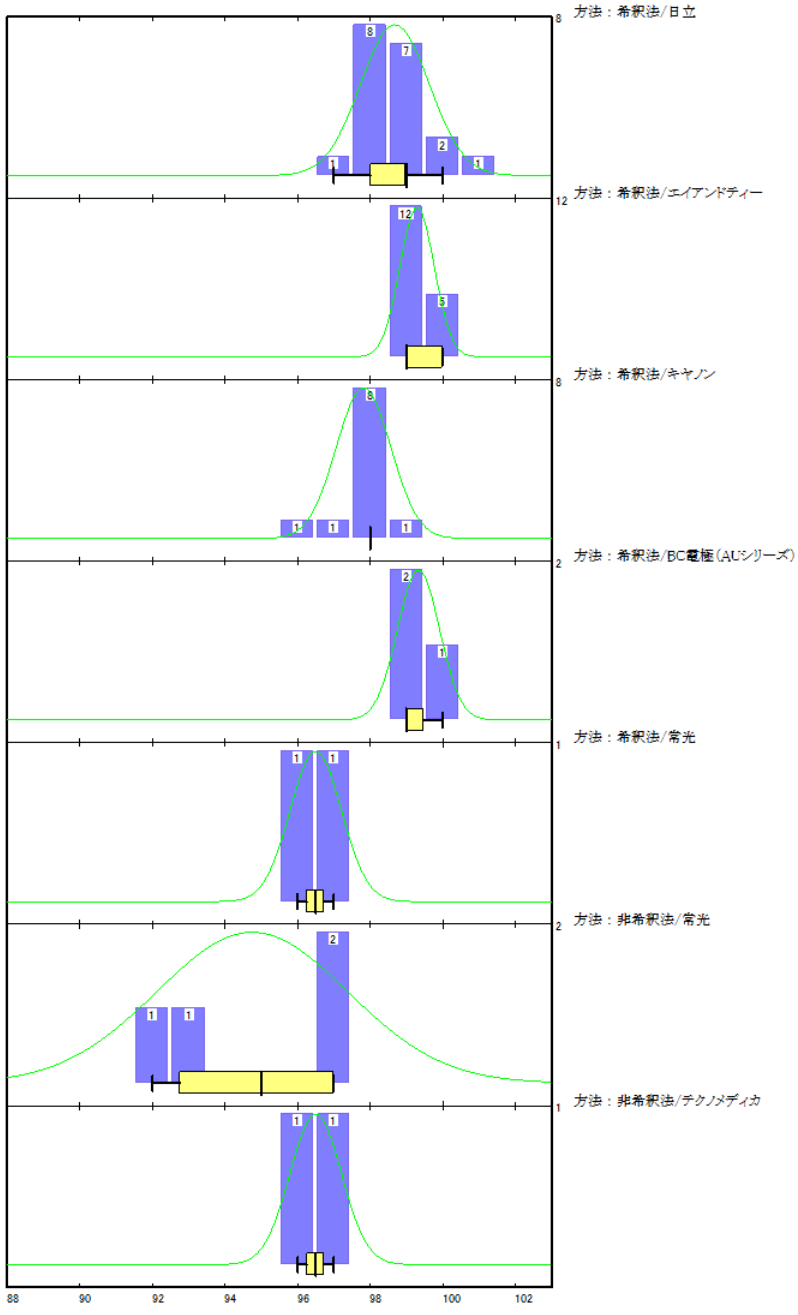
試料02

クロール−方法別統計 ヒストグラム+箱ひげ図
クロール　1



試料01

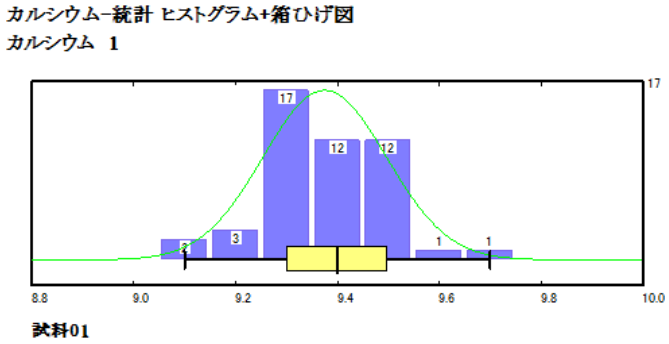
クロール−方法別統計 ヒストグラム+箱ひげ図
クロール　2

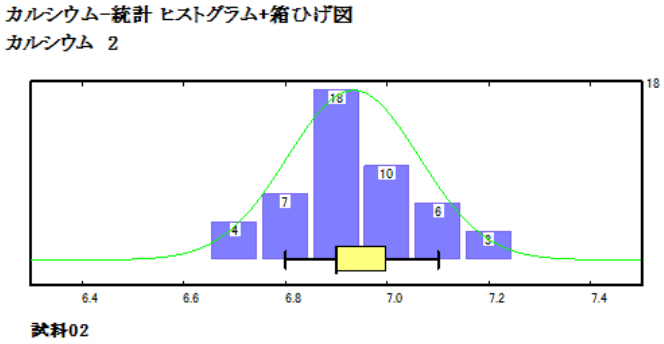


試料02

④ カルシウム

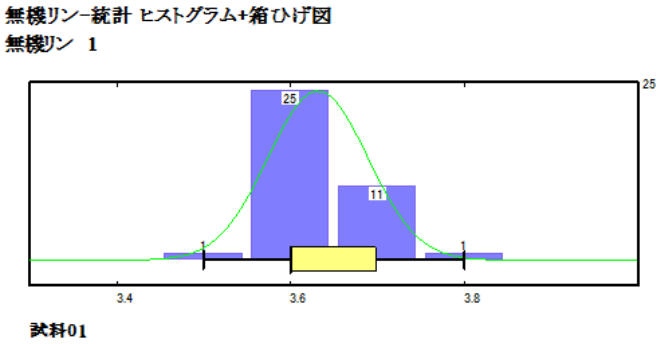
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、アルセナゾⅢ法（29 施設）、酵素法（18 施設）、クロロホスホナゾⅢ法（1 施設）であった。CV は、試料 1：1.29 %、試料 2：1.87 %であり、昨年度と同様、収束した結果であった。

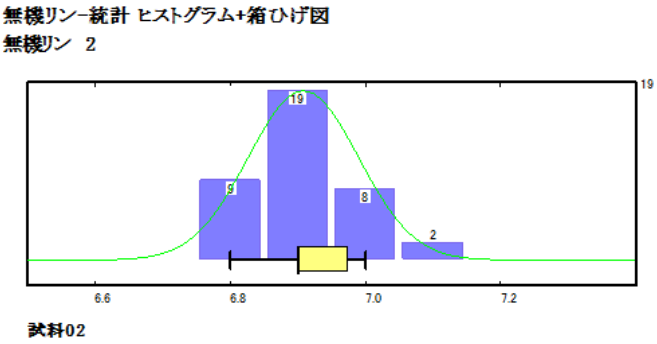




⑤ 無機リン

評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、酵素法（36 施設）、モリブデン酸・UV 法（2 施設）であった。CV は、試料 1：1.58 %、試料 2：1.18 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

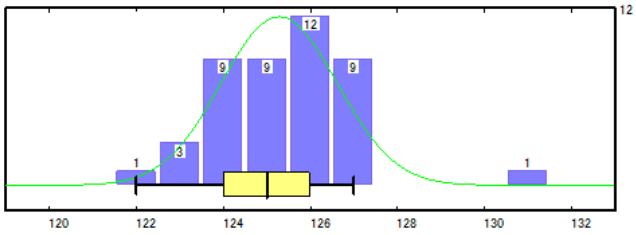




⑥ 血清鉄

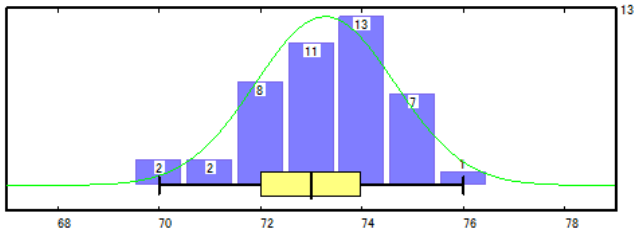
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、Nitroso-PSAP 法（39 施設）、バソフェナントロリン（5 施設）であった。CV は、試料 1：1.06 %、試料 2：1.87 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

血清鉄−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
鉄 1



試料01

血清鉄−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
鉄 2

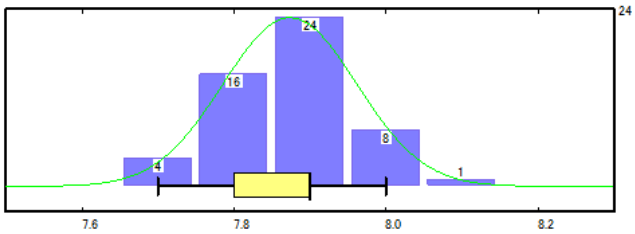


試料02

⑦ 総蛋白、アルブミン

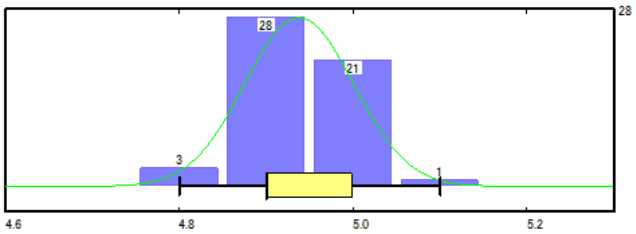
総蛋白、アルブミンともに評価方法は、項目一括評価とした。総蛋白の測定方法は、全施設、ビューレット法（53 施設）であった。CV は、試料 1：1.12 %、試料 2：1.27 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。アルブミンの測定方法は、全施設、BCP 改良法（52 施設）であった。CV は、試料 1：1.41 %、試料 2：1.72 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

総蛋白−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
総蛋白 1



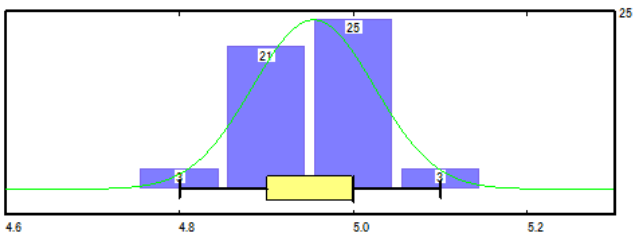
試料01

総蛋白−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
総蛋白 2



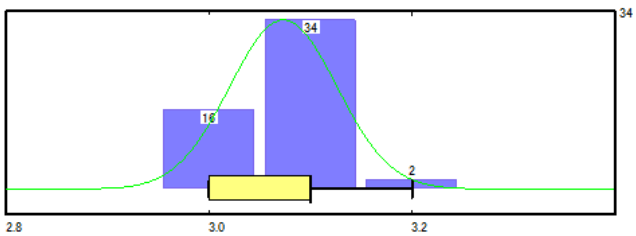
試料02

アルブミン−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アルブミン 1



試料01

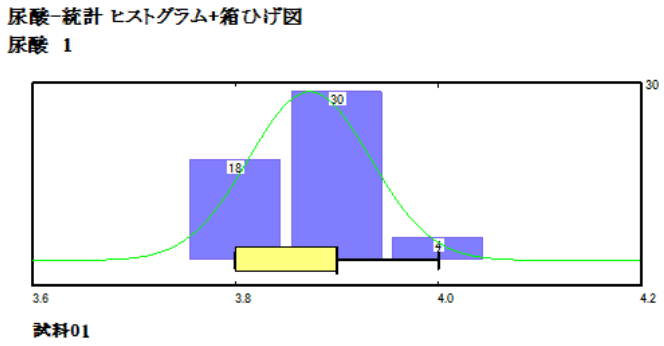
アルブミン−統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アルブミン 2

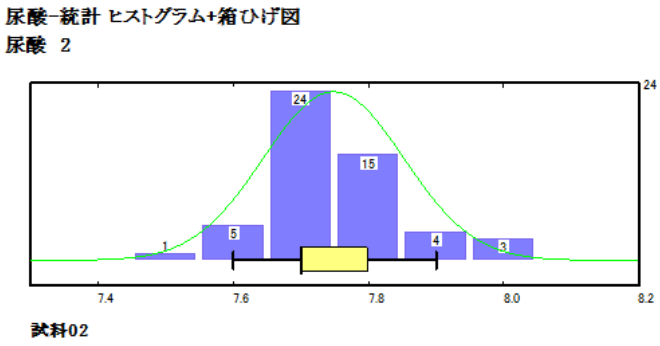


試料02

⑧ 尿酸

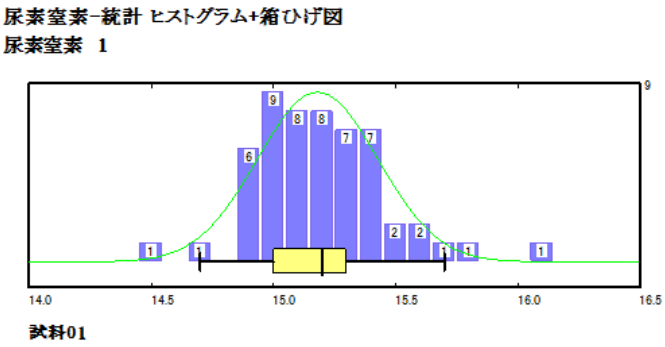
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、全施設、ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法（52 施設）であった。CV は、試料 1：1.54 %、試料 2：1.34 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

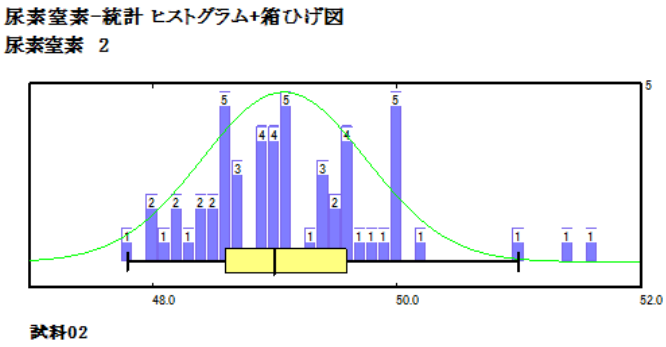




⑨ 尿素窒素

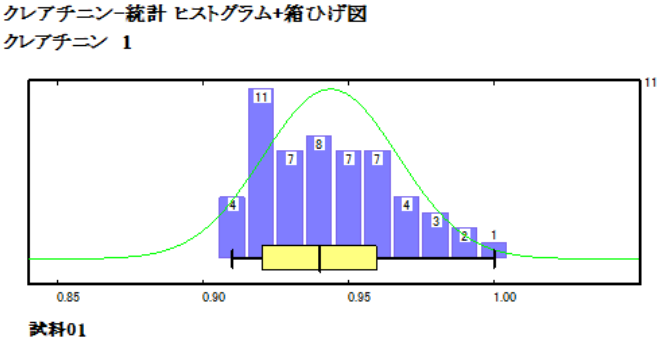
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、全施設、アンモニア消去, 回避法（54 施設）であった。CV は、試料 1：1.62 %、試料 2：1.37 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

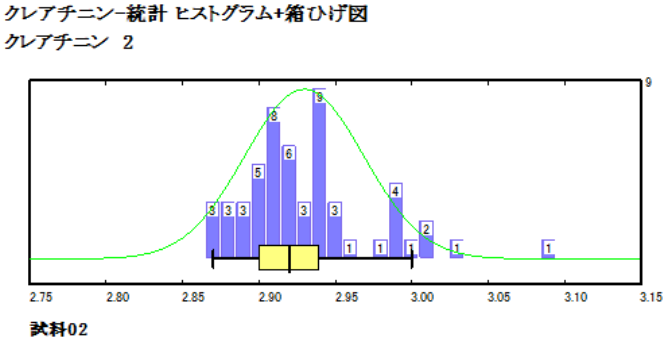




⑩ クレアチニン

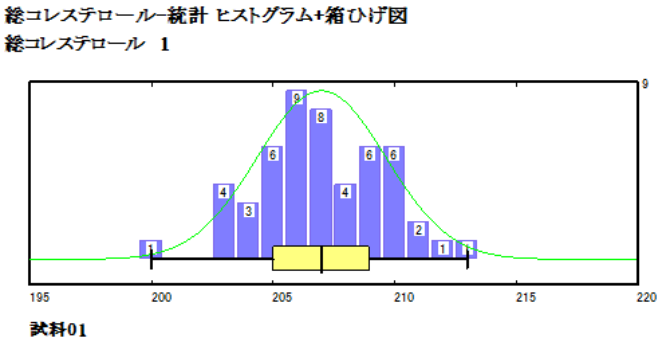
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、全施設、酵素法（54 施設）であった。CV は、試料 1：2.46 %、試料 2：1.33 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

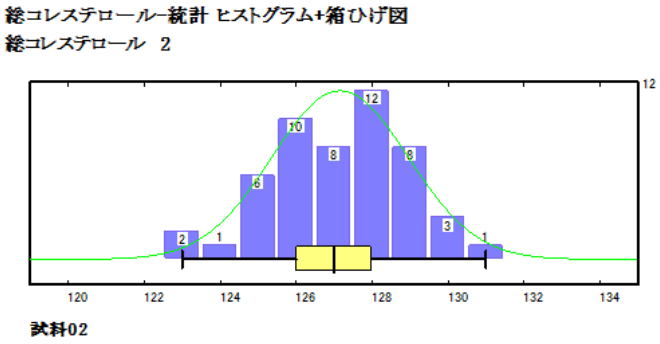




⑪ 総コレステロール

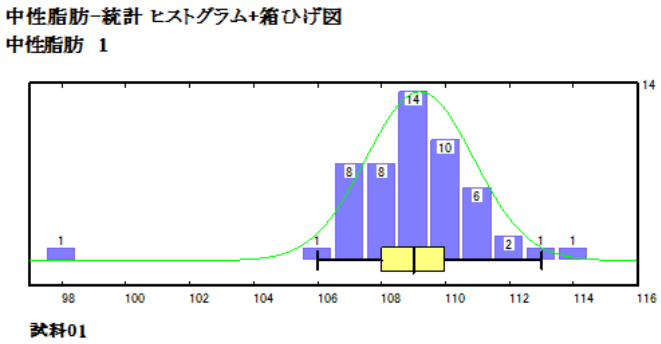
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、全施設、コレステロール酸化酵素法（51 施設）であった。CV は、試料 1：1.27 %、 試料 2：1.41 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

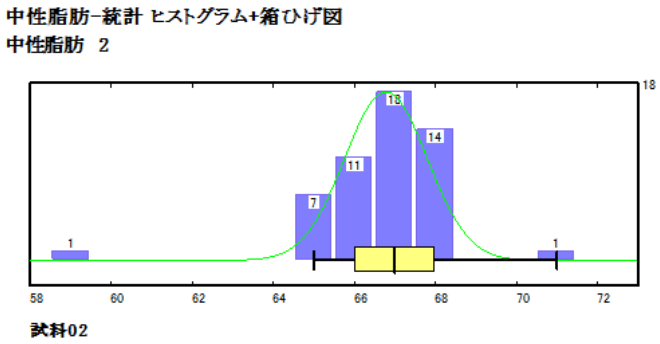




⑫ 中性脂肪

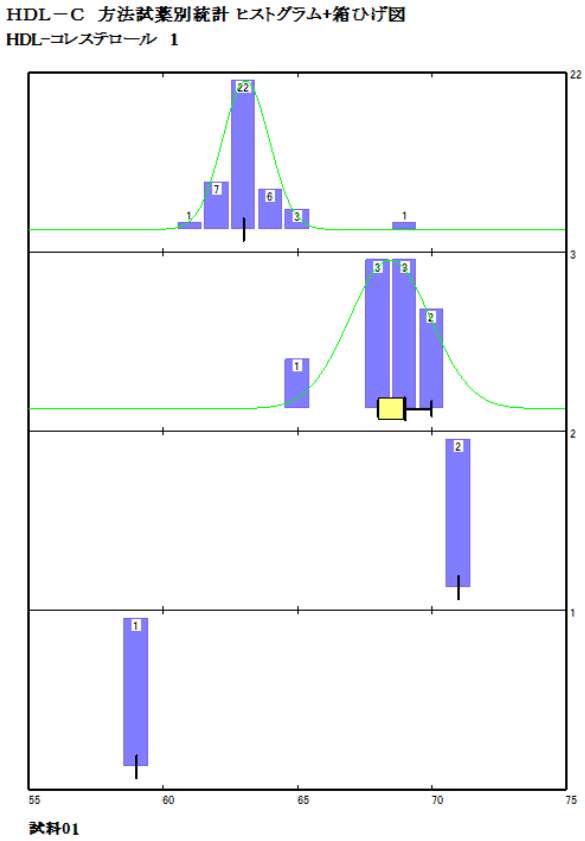
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、全施設、酵素比色法（52 施設）であった。CV は、試料 1：1.53 %、試料 2：1.52 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。

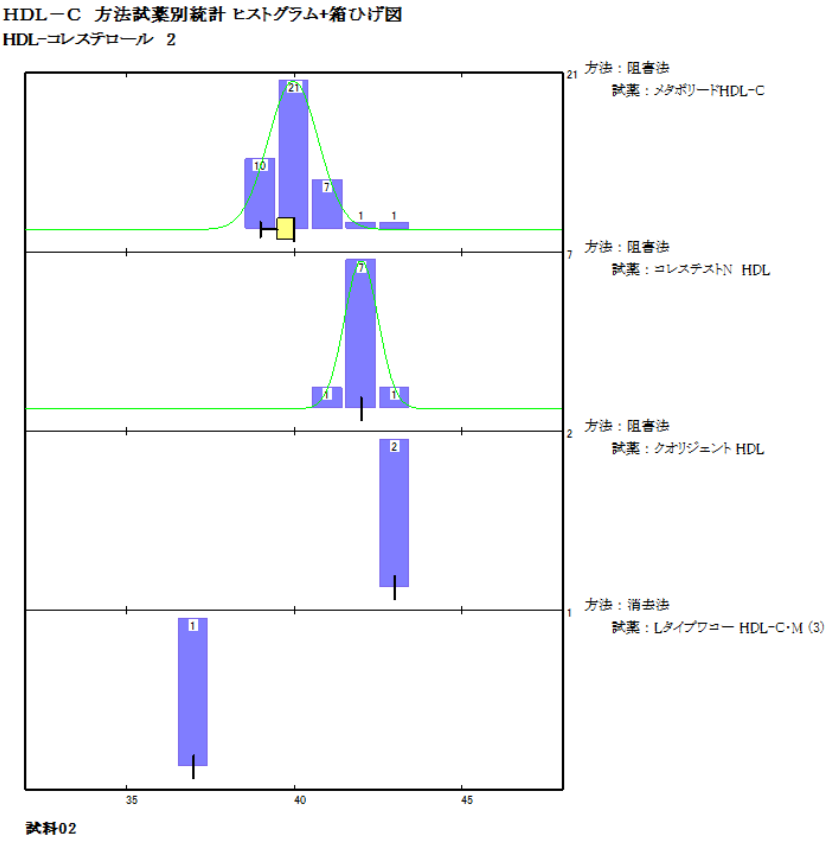




⑬ HDL-コレステロール

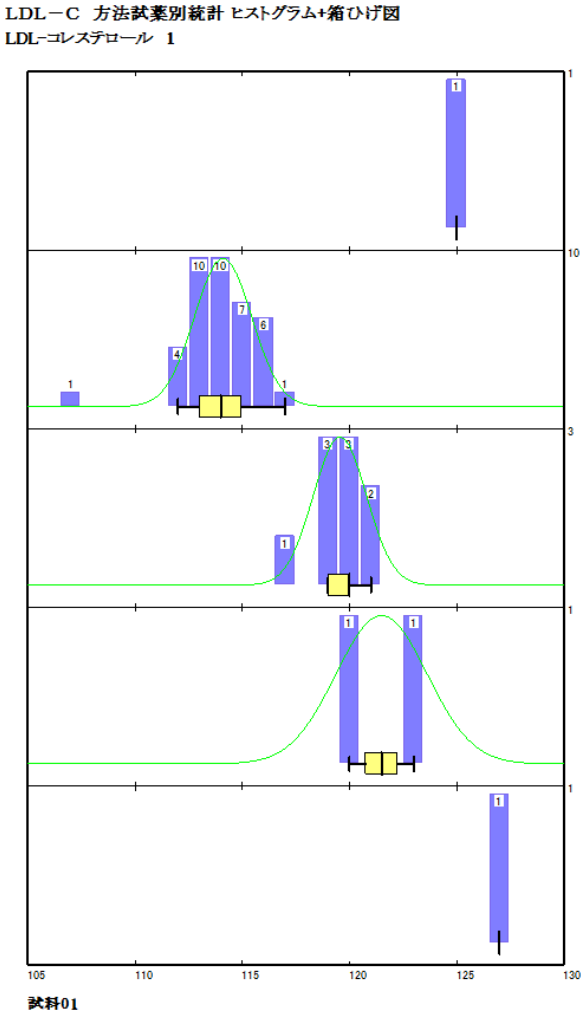
評価方法は、方法別＋試薬別評価とした。測定方法は、阻害による直接法（51 施設）、消去による直接法（1 施設）であった。試薬は、メタボリード HDL-C（40 施設）、コレステスト N HDL（9 施設）、残り 3 施設はその他の試薬であった。CV は、試料 1：1.38 %、試料 2：1.86 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。コレステスト N HDL は、今年度 9 施設であったため評価対象外とした。

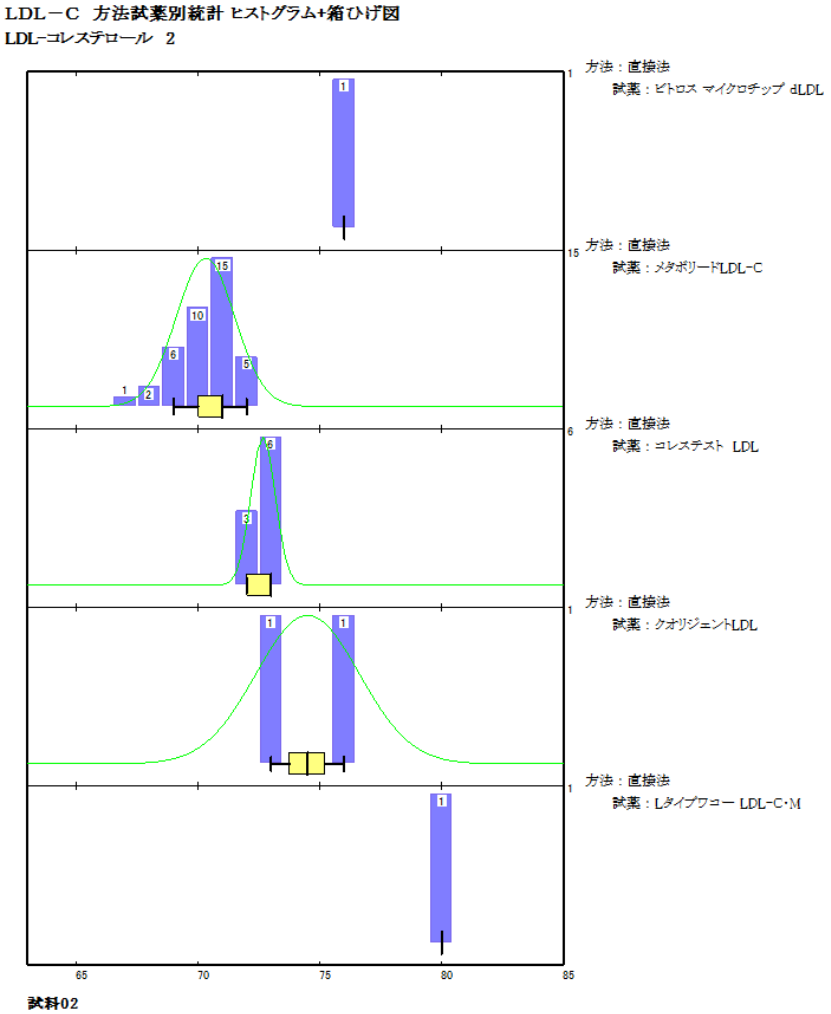




⑭ LDL-コレステロール

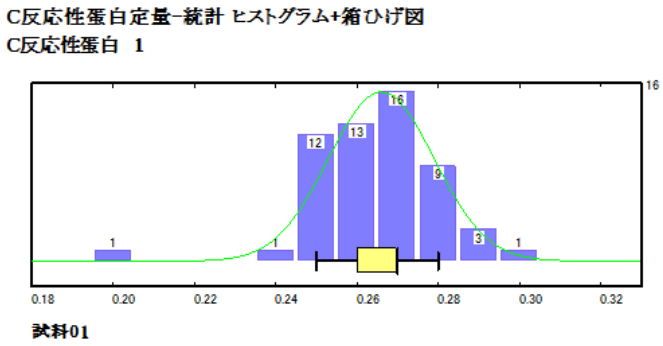
評価方法は、方法別＋試薬別評価とした。測定方法は、全施設、直接法（52施設）であった。試薬は、メタボリードLDL-C（39施設）、コレステストLDL（9施設）、残り4施設は、その他の試薬であった。CVは試料1：1.17％、試料2：1.70％であり、昨年と同様、収束した結果であった。コレステスト LDLは、今年度9施設であったため評価対象外とした。

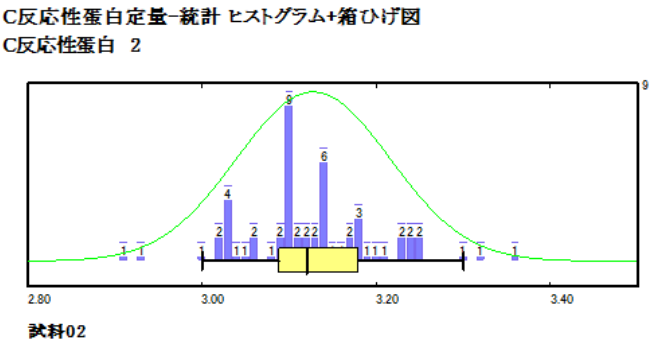




⑮ CRP

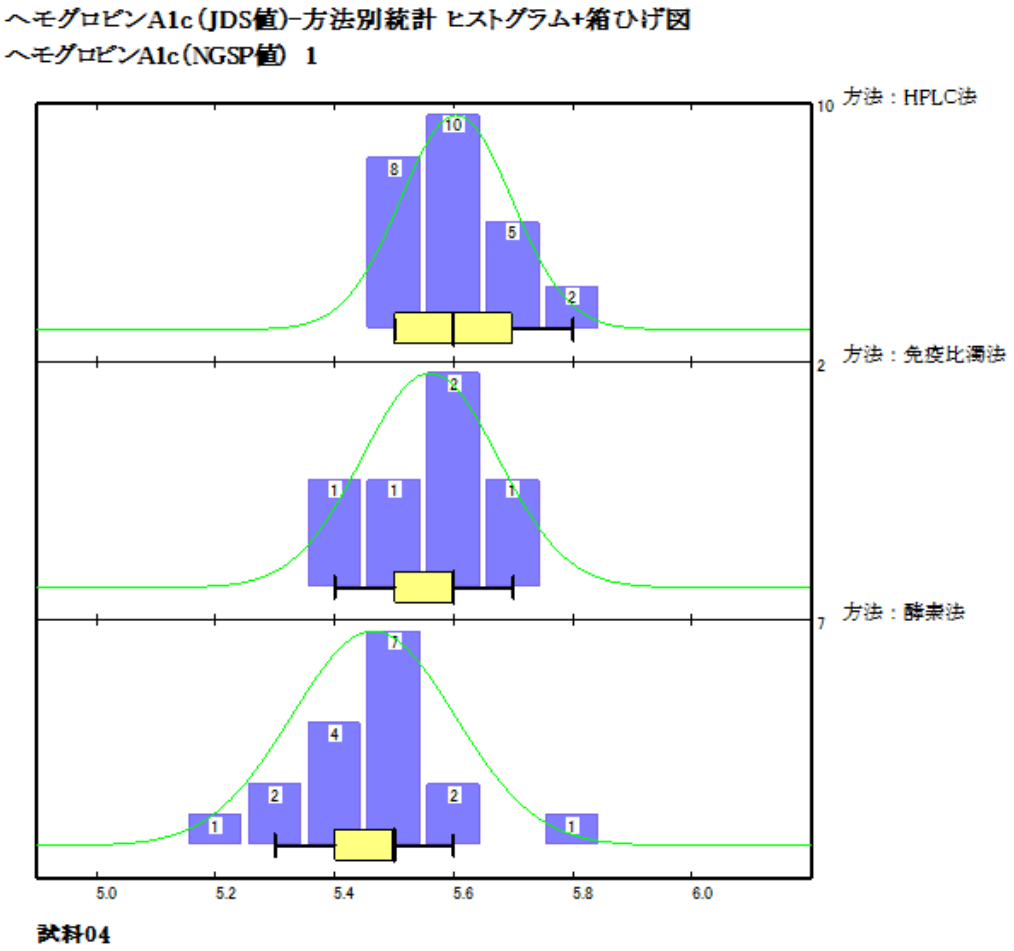
評価方法は、項目一括評価とした。測定方法は、全施設、ラテックス比濁法（56 施設）であった。CV は、試料 1：4.89 %、試料 2：2.82 %であり、昨年と同様、収束した結果であった。





⑯ HbA1c

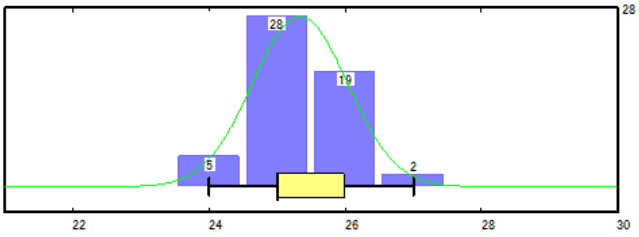
評価方法は、方法別評価とした。測定方法は、HPLC 法（25 施設）、酵素法（17 施設）であった。CV は、1.67～2.50 %であり、収束した結果であった。免疫比濁法は、5 施設だったため、評価対象外とした。



⑰ 酵素項目

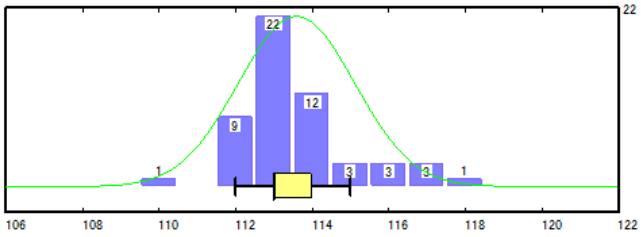
ALP と LD の測定法は、全施設 IFCC 標準化対応法、その他の酵素項目は全施設 JSCC 標準化対応法であった。AMY は、4,6-エチリデン-G7-PNP 基質を用いた試薬が、昨年度よりも増加傾向であった。全ての項目で一括評価とした。AST の CV は、試料 1：2.76 %、試料 2：1.34 %、ALT の CV は、試料 1：3.91 %、試料 2：1.75 %、ALP の CV は、試料 1：1.79 %、試料 2：1.51 %、LD の CV は、試料 1：1.88 %、試料 2：1.15 %、AMY の CV は、試料 1：1.70 %、試料 2：1.35 %、CK の CV は、試料 1：1.30 %、試料 2：2.13 %、γ-GT の CV は、試料 1：2.15 %、試料 2：1.00 %、ChE の CV は、試料 1：0.90 %、試料 2：0.97 %であり、それぞれ昨年と同様、収束した結果であった。昨年度は、CK の試料 2 で、CD 評価施設が 6 施設だったが、今年度は、C 評価が 3 施設と減少した。総ビリルビン同様に、手引き書の注意喚起が周知できたと考えられる。

アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ 1



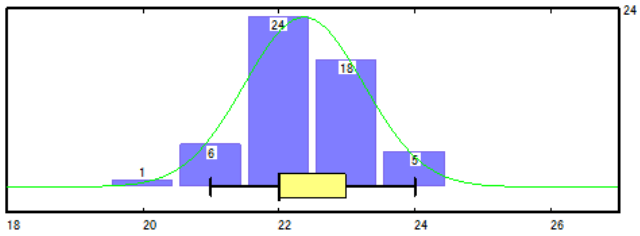
試料01

アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ 2



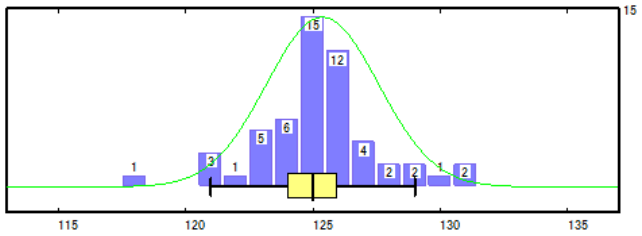
試料02

アラニンアミノトランスフェラーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アラニンアミノトランスフェラーゼ 1



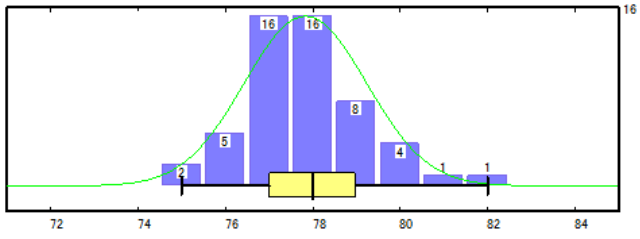
試料01

アラニンアミノトランスフェラーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アラニンアミノトランスフェラーゼ 2



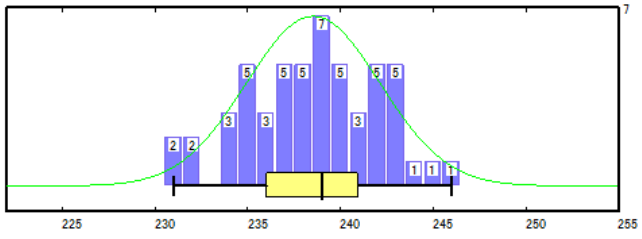
試料02

アルカリ性フォスファターゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アルカリホスファターゼ 1



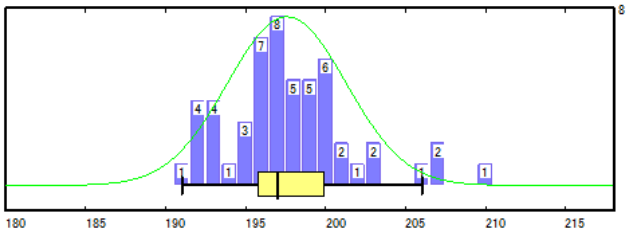
試料01

アルカリ性フォスファターゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アルカリホスファターゼ 2



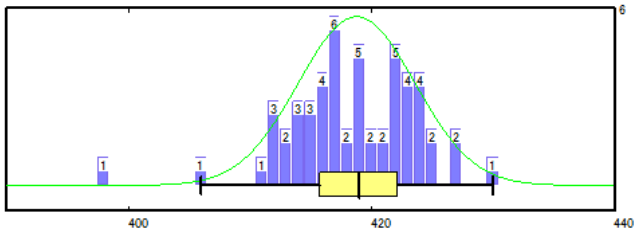
試料02

乳酸脱水素酵素-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
乳酸デヒドロゲナーゼ 1



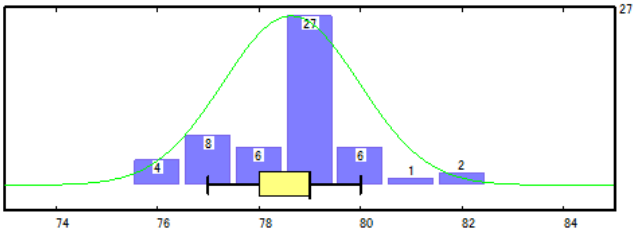
試料01

乳酸脱水素酵素-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
乳酸デヒドロゲナーゼ 2



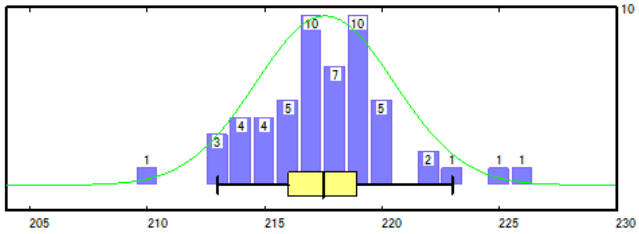
試料02

アミラーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アミラーゼ 1



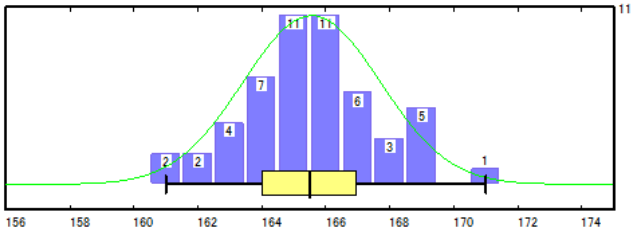
試料01

アミラーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
アミラーゼ 2



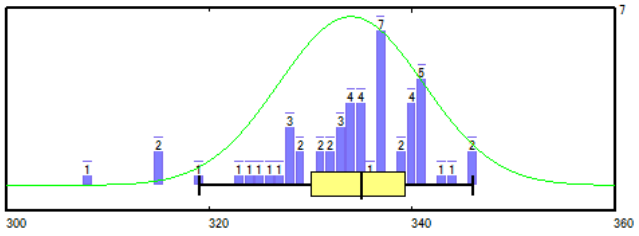
試料02

クレアチンキナーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
クレアチンキナーゼ 1



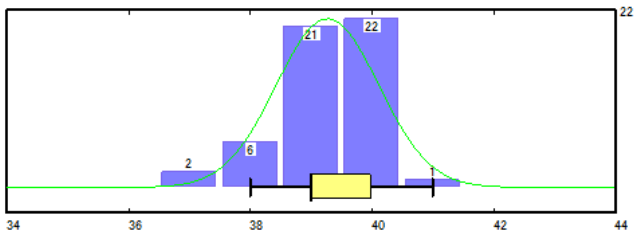
試料01

クレアチンキナーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
クレアチンキナーゼ 2



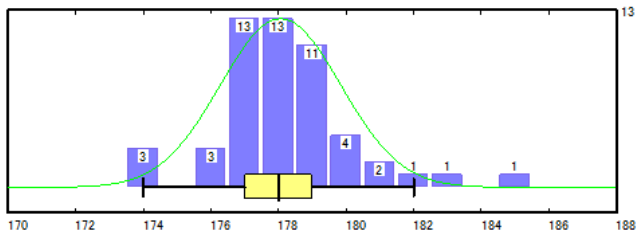
試料02

γ-グルタミルトランスペプチダーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
γ-グルタミルトランスフェラーゼ 1

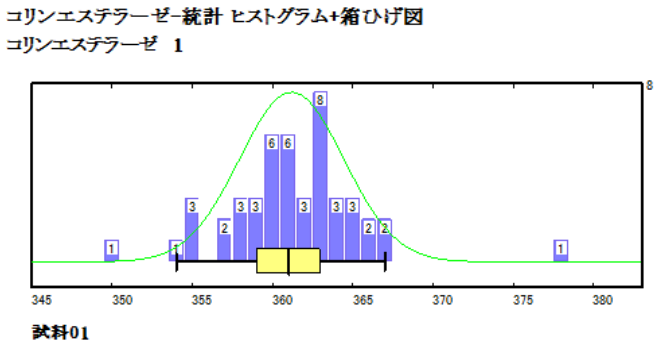


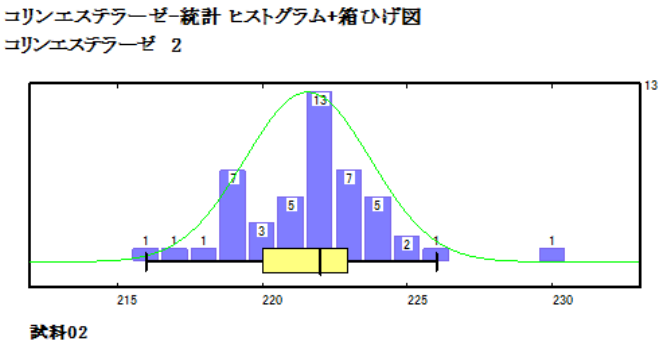
試料01

γ-グルタミルトランスペプチダーゼ-統計 ヒストグラム+箱ひげ図
γ-グルタミルトランスフェラーゼ 2



試料02





⑱ 感染症項目

評価方法は、定性結果のみの評価とした。HBs 抗原・HCV 抗体・TP 抗体ともに、試料 1 は陰性、試料 3 は陽性の結果であったが、昨年同様、全ての施設において、誤判定は認められず、A 評価であった。

<まとめ>

今年度の参加施設は、昨年と比較してほぼ同等であった。

試料については、昨年同様、ヒト由来プール血清を使用した。濃度域を試料 1 に正常域、試料 2 に異常域を設定した。

集計については概ね収束した結果であった。脂質項目（HDL-C、LDL-C）は、10 施設以上の評価対象試薬が、メタボリードのみであった。

ドライケミストリー法での評価については参加施設数が少なすぎるため、目標値をメーカーの測定値として評価設定して報告しているが、集計データは参考程度に見ていただきたい。

今年度の CD 評価対象施設は、5 施設であり、昨年度の 16 施設よりも大幅に減少した。光による測定値への影響が考えられる、総ビリルビンと CK の CD 評価施設が、昨年度に比べ減少した。手引書に記載した「試料の、到着日の測定と遮光保存」についての注意喚起が周知できたと考えられる。今後も同様に継続していきたい。

CD 評価対象施設には、原因と傾向を分析することで改善につながると考えているため、是正報告書のご提出をお願いしたい。

今後も継続して山口県の精度管理調査にご参加いただき、ご施設の臨床検査の精度向上に繋がるように、役立てていただきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

最後に、ドライケミストリーの目標値設定にご協力いただいた富士フイルムメディカル株式会社とオーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社にこの場を借りてお礼申し上げます。

資料1
令和7年度 山口県臨床検査技師会精度管理調査 生物化学分析部門 方法別年次推移

測定項目	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	測定方法					
グルコース	ヘキソキナーゼ法	48	49	49	46	47
	グルコキナーゼ法	1	1	1	1	1
	ブドウ糖酸化酵素電極法	7	7	6	7	6
	ドライケミストリー	3	2	3	2	2
総ビリルビン	酵素法	27	26	27	24	27
	バナジン酸酸化法	28	30	29	29	27
	ドライケミストリー	3	2	3	2	2
直接ビリルビン	酵素法	22	21	22	19	22
	バナジン酸酸化法	24	26	25	25	24
	ドライケミストリー	1	1	1	2	2
Na	イオン選択電極法希釈法	52	53	52	50	51
	イオン選択電極法非希釈法	7	5	6	6	7
	ドライケミストリー	1	0	2	2	1
K	イオン選択電極法希釈法	52	53	52	50	51
	イオン選択電極法非希釈法	7	5	6	6	7
	ドライケミストリー	1	0	2	2	1
Cl	イオン選択電極法希釈法	53	54	53	51	52
	イオン選択電極法非希釈法	6	4	5	5	6
	ドライケミストリー	1	0	2	2	1
カルシウム	o-CPC法	2	2	2	2	0
	メチルキシレノールブルー(MXB)法	1	1	1	0	0
	アルセナゾⅢ比色法	29	30	29	28	29
	クロロホスホナゾ比色Ⅲ	1	1	1	1	1
	酵素法	17	17	18	17	18
	ドライケミストリー	3	2	3	2	2
無機リン	酵素法	37	37	36	35	36
	モリブデン酸・UV法	2	2	2	2	2
	ドライケミストリー	1	1	1	2	2
血清鉄	Nitroso-PSAP法	38	38	38	36	39
	バソフェナントロリン法	5	6	6	5	5
	Ferene色素法	0	0	0	1	0
	ドライケミストリー	0	0	0	1	1
総蛋白	ビューレット法	55	56	56	53	53
	ドライケミストリー	3	2	3	2	2
アルブミン	BCG法	5	0	0	0	0
	BCP法	0	0	0	0	0
	BCP改良法	48	54	54	51	52
	ドライケミストリー	3	2	3	2	2
尿酸	ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	52	53	54	51	52
	ウリカーゼ・UV法	1	1	0	0	0
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
尿素窒素	アンモニア消去，回避法	53	56	56	53	54
	アンモニア未消去法	2	0	0	0	0
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
クレアチニン	酵素法	55	56	56	52	54
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2

測定項目	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	測定方法					
総コレステロール	コレステロール酸化酵素法	52	53	53	50	51
	ドライケミストリー	1	1	2	2	2
中性脂肪	酵素比色法	53	53	54	51	52
	ドライケミストリー	1	1	2	2	2
HDL-コレステロール	直接法(メタボリードHDL-C)	39	39	39	35	40
	直接法(フレックスカートリッジ AHDL)	2	2	2	2	0
	直接法(コレステストN HDL)	9	10	10	10	9
	直接法(クオリジェント HDL)	1	1	1	2	2
	直接法(Lタイプワコー HDL-C・M)	1	1	1	1	1
	ドライケミストリー	1	1	2	2	2
LDL-コレステロール	直接法(メタボリードLDL-C)	37	37	38	34	39
	直接法(フレックスカートリッジ ALDL)	2	2	2	2	0
	直接法(コレステスト LDL)	9	10	10	10	9
	直接法(クオリジェントLDL)	1	1	1	2	2
	直接法(ビトロス マイクロチップ dLDL)	0	0	1	1	1
	直接法(Lタイプワコー LDL-C・M)	1	1	1	1	1
	ドライケミストリー	0	0	0	0	0
CRP	ラテックス比濁法	58	59	60	55	56
	ドライケミストリー	1	1	2	2	1
AST	JSCC標準化対応法	55	56	56	53	54
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
ALT	JSCC標準化対応法	55	56	56	53	54
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
ALP	JSCC標準化対応法	0	0	0	0	0
	IFCC標準化対応法	55	56	56	53	53
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
LD	JSCC標準化対応法	0	0	0	0	0
	IFCC標準化対応法	55	56	56	53	53
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
AMY	JSCC(IFCC/JCCLS)標準化対応法	55	56	56	53	54
	4,6-エチリデン-G7-PNP	42	45	45	44	49
	Gal-G2-CNP	5	3	3	2	0
	Gal-G5-PNP(CNP)	1	1	0	0	0
	B-G5-PNP	6	6	7	7	5
	G3－CNP	1	1	1	0	0
	ドライケミストリー	3	2	3	2	2
CK	JSCC標準化対応法	54	55	55	52	52
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
γ-GT	JSCC・IFCC標準化対応法	53	54	54	51	52
	ドライケミストリー	3	2	4	3	2
ChE	JSCC標準化対応法	49	50	50	47	47
	ドライケミストリー	1	1	1	2	2
HbA1c	HPLC法	26	25	25	24	25
	免疫学的測定法	11	10	10	7	5
	酵素法	11	12	13	15	17

資料2　　令和7年度 山口県臨床検査技師会精度管理調査 生物化学分析部門 評価設定一覧

評価基準は、昨年と同様、日本臨床衛生検査技師会精度管理調査臨床化学部門評価基準に準じて、目標値は評価方法別の平均値を採用した。

項目	評価方法		設定幅の種類	試料１						試料2					
				目標値	SD	CV	A評価	B評価	C評価	目標値	SD	CV	A評価	B評価	C評価
グルコース	項目一括		平均値からの±%偏差設定	90.9	1.1	1.25	2.30	5.00	7.50	245.0	2.6	1.08	2.30	5.00	7.50
総ビリルビン	方法別	酵素法	平均値からの±偏差設定	1.39	0.04	3.11	0.10	0.20	0.30	4.53	0.12	2.57	0.10	0.20	0.30
		バナジン酸法		1.25	0.05	4.08				4.25	0.06	1.36			
直接ビリルビン	評価対象外														
Na	項目一括		平均値からの±偏差設定	144.6	1.3	0.89	2.0	3.0	4.0	130.7	0.8	0.62	2.0	3.0	4.0
K				5.99	0.05	0.77	0.10	0.20	0.30	3.71	0.03	0.84	0.10	0.20	0.30
Cl	方法電極別評価	イオン選択電極法希釈法/日立		111.5	1.0	0.91	2.0	3.0	4.0	98.7	0.9	0.96	2.0	3.0	4.0
		イオン選択電極法希釈法/エイアンドティー		111.3	0.7	0.62				99.3	0.5	0.47			
		イオン選択電極法希釈法/キヤノン		109.5	0.7	0.63				97.8	0.8	0.77			
カルシウム	項目一括		平均値からの±%偏差設定	9.38	0.12	1.29	1.00	4.08	6.12	6.93	0.13	1.87	1.00	4.08	6.12
無機リン				3.63	0.06	1.58	3.50	5.00	7.50	6.91	0.08	1.18	3.50	5.00	7.50
血清鉄				125.3	1.3	1.06	5.00	5.00	7.50	73.3	1.4	1.87	5.00	5.00	7.50
総蛋白				7.87	0.09	1.12	1.20	3.31	4.97	4.94	0.06	1.27	1.20	3.31	4.97
アルブミン				4.95	0.07	1.41	1.30	5.00	7.50	3.07	0.05	1.72	1.30	5.00	7.50
尿酸				3.87	0.06	1.54	5.00	5.00	7.50	7.75	0.10	1.34	5.00	5.00	7.50
尿素窒素			平均値からの±偏差設定	15.18	0.25	1.62	1.00		2.00	49.08	0.67	1.37	2.00	3.00	4.00
クレアチニン			絶対値設定	0.944	0.023	2.46	0.84-1.04	0.84-1.14	0.74-1.14	2.930	0.039	1.33	2.76-3.10	2.76-3.16	2.66-3.16
総コレステロール			平均値からの±%偏差設定	207.0	2.6	1.27	4.50	5.00	7.50	127.2	1.8	1.41	4.50	5.00	7.50
中性脂肪				109.2	1.7	1.53	5.00	5.00	7.50	66.8	1.0	1.52	5.00	5.00	7.50
HDL-コレステロール	試薬別	メタボリードHDL-C		63.1	0.9	1.38	5.00	5.00	7.50	40.0	0.7	1.86	5.00	5.00	7.50
LDL-コレステロール		メタボリードLDL-C		114.1	1.3	1.17	5.00	5.00	7.50	70.3	1.2	1.70	5.00	5.00	7.50
CRP	項目一括		絶対値設定	0.266	0.013	4.89	0.170-0.370		0.10-0.57	3.128	0.088	2.82	2.930-3.330		2.83-3.43
AST			平均値からの±%偏差設定	25.3	0.7	2.76	5.00	5.00	7.50	113.6	1.5	1.34	5.00	5.00	7.50
ALT				22.4	0.9	3.91	5.00	5.00	7.50	125.4	2.2	1.75	5.00	5.00	7.50
ALP				77.8	1.4	1.79	5.00	5.00	7.50	238.5	3.6	1.51	5.00	5.00	7.50
LD				197.6	3.7	1.88	3.90	5.00	7.50	418.8	4.8	1.15	3.90	5.00	7.50
AMY				78.6	1.3	1.70	5.00	5.00	7.50	217.6	2.9	1.35	5.00	5.00	7.50
CK				165.6	2.1	1.30	5.00	5.00	7.50	334.0	7.1	2.13	5.00	5.00	7.50
γ-GT				39.3	0.8	2.15	5.00	5.00	7.50	178.1	1.8	1.00	5.00	5.00	7.50
ChE				361.2	3.2	0.90	5.00	5.00	7.50	221.6	2.2	0.97	5.00	5.00	7.50

項目	評価方法		設定幅の種類	試料4					
				目標値	SD	CV	A評価	B評価	C評価
HbA1c	方法別	HPLC法	平均値の±%偏差設定	5.60	0.09	1.67	5.00	5.00	7.50
		酵素法		5.46	0.14	2.50	5.00	5.00	7.50

資料3　　令和7年度　山口県臨床検査技師会精度管理調査　生物化学分析部門　ドライ評価設定一覧

評価基準は、昨年と同様、日本臨床衛生検査医技師会精度管理調査臨床化学部門評価基準に準じた。目標値は各メーカーに試料を提供し、多重測定の平均値を採用した。

項目	設定幅の種類	試料１					試料2				
		目標値		A評価	B評価	C評価	目標値		A評価	B評価	C評価
		富士フイルム	オーソ				富士フイルム	オーソ			
グルコース	目標値からの±%偏差設定	93.0	94.9	2.30	5.00	7.50	248.0	235.4	2.30	5.00	7.50
総ビリルビン	目標値からの±偏差設定	1.40	1.52	0.10	0.20	0.30	4.40	5.04	0.20	0.30	0.40
Na			146.50	2.00	3.00	4.00		128.10	2.00	3.00	4.00
K			6.10	0.20	0.20	0.30		3.70	0.10	0.20	0.30
Cl			111.00	2.00	3.00	4.00		98.00	2.00	3.00	4.00
カルシウム	目標値からの±%偏差設定	9.40	9.48	1.00	5.00	7.50	6.70	6.84	1.00	5.00	7.50
無機リン		3.80	3.82	3.50	5.00	7.50	7.50	6.97	3.50	5.00	7.50
血清鉄			141.00	5.00	6.40	9.60		78.00	5.00	7.50	11.30
総蛋白		7.90	8.00	1.20	5.00	7.50	4.80	4.90	1.20	5.00	7.50
アルブミン		5.20	4.70	1.30	5.00	7.50	2.50	2.70	1.30	5.00	7.50
尿酸		4.00	3.90	5.00	5.00	7.50	8.00	7.60	5.00	5.00	7.50
尿素窒素	目標値からの±偏差設定	16.10	16.40	1.00	1.00	2.00	50.10	49.20	3.00		4.00
クレアチニン		0.790	0.930	0.10		0.20	2.570	2.640	0.20		0.30
総コレステロール	目標値からの±%偏差設定	216.0	203.0	5.00	5.00	7.50	119.0	124.0	5.00	5.00	7.50
中性脂肪		115.0		5.00	5.00	7.50	72.0		5.00	5.00	7.50
HDL-コレステロール		63.0	68.0	5.00	5.00	7.50	39.0	37.0	5.00	5.00	7.50
CRP	絶対値設定	0.300		0.200-0.400		0.100-0.500	3.600		3.300-3.900	3.200-4.000	3.100-4.100
AST	目標値からの±%偏差設定	28.0	26.0	5.00	5.00	7.50	109.0	109.0	5.00	5.00	7.50
ALT		26.0	25.0	5.00	5.00	7.50	128.0	136.0	5.00	5.00	7.50
ALP		88.0	89.0	5.00	5.00	7.50	260.0	215.0	5.00	5.00	7.50
LD		196.0	220.0	5.00	5.00	7.50	372.0	446.0	5.00	5.00	7.50
AMY		81.0	72.0	5.00	5.00	7.50	211.0	193.0	5.00	5.00	7.50
CK		160.0	174.0	5.00	5.00	7.50	418.0	424.0	5.00	5.00	7.50
γ-GT		40.0	43.0	5.00	5.00	7.50	201.0	198.0	5.00	5.00	7.50
ChE		412.0	363.0	5.00	5.00	7.50	235.0	224.0	5.00	5.00	7.50